



# 問 燃えるごみの出し方、解決策は

**答** 相談者に丁寧に個別対応している

いしているので、管理運営は住民に実態を把握してい。また、村から自治会などに提案するのは難しいが相談者には10世帯以上まとめれば集積所の新規設置ができることや近隣の別の集積所の案

問 一自治会に入らなければごみを出させない」「自治会を抜ければごみを出せない」という班はどのくらいあると村は把握しているか。また、解決のためのどんなアイデアを提案しているか。



自治会加入に關係なくごみが出せる集積所(百塚原第一班)

内をしている。

あべ こうし 議員

A black and white photograph of a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and striped tie. He is standing behind a podium, looking slightly to his left. The background shows a wall with vertical panels and some Japanese characters.

問	「自治会に入らなければごみを出させない」「自治会を抜ければごみを出させない」という班はどのくらいあると村は把握しているか。また、解決のためのどんなアイデアを提案しているか。
答	ごみ集積所の設置管理運営は住民にお願いしているので、村では実態を把握していな
答	ごみ収集所独自の運営ルールなどに関するため、村が関与することは難しい。

そこは、利用の条件として集積所の清掃当番をしたり、適正な管理費を負担したりして円滑にごみを出せている。こういうことを班の責任者などに広く伝えては、と提案する。出させないのは村八分ではござみ収集所独自の運営ルールなどに関することのため、村が関与することは難しい。

# 間 気軽に足が運べるコミセンに

**答** 具体的な取り組みを進めたい

気軽に来館し、利用できることは重要である。今後は、気軽に足を運べるよう取り組みを進めていきたい。

**問** コミセンは「貸館施設」であり事前予約を基本とするが、住民がより気軽に足を運べる施設であるべきと考えるが。



コミセン和室での母と子のサロン  
(村本一ムページから引用)

ルを子育て世帯に限定

# 新政とうかい おち たつや 越智辰哉議員

の居場所づくりや子育て支援にもつながるものである。また、運用上の改善で可能な取り組みでもあり、今後、施設ごとの予約状況や利用形態、施設形狀といった特性を踏まえながら、取り組んでいきたい。

ルを子育て世帯に限定して、予約フリーで月1回程度開放するなど取り組みを実施してはどうか。